

## 通信と震災～ISPの集い in 仙台～

2011年3月11日(金)大きな揺れとともに、様々な被害をもたらした「東日本大震災。」この日で丸8ヶ月となります。即ボランティアに向かった方、募金した方、何が出来るんだろうと自問している方、いろいろな方々がいらっしやっただと思います。今回この震災時に通信事業者に何が起こって、それから何をして、こんなことで困った等、また発生するであろう大震災にどのような対応をしたら良いか。ということテーマにしてセミナーを行うことになりました。やはり、開催する上で、現地に伺うのが迷惑ではないか？と言うのが一番気になったところです。しかし現地を見てほしい、テレビの画像ではなく実際にその場に来て感じてほしいというような、お話しもあり、セミナーの前日に急遽「被災地訪問」を実施しました。バスを借り、20名程度と思って募集をしたら、この機会に参加したいと言う方も多く35名の大移動となりました。今回はご自身でも被災された、ジェットインターネットの晋山さん(地域ISP部会 部会長)が手配をすべて行ってくださり、石巻市役所、女川町役場をまわることが出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。

2011年11月10日(木)

12:30 仙台駅集合

13:00 出発(皆さん早くお集まりいただいて12:40分には出発できました)

女川町役場まで足を伸ばすと半日ではきついので、高速道路を利用。運転手さんの説明だと、この高速道路を境に津波が来たところ、来なかったところが分かれたそうだ。その津波が来た場所は、更地になり、それでも草は生えてきている。中には、外壁はあるが津波が通り抜けたのを想像できるように窓が打ち破られ、悲惨な建物がたくさんありました。テレビでよく見る「がんばろう！石巻」がバスの中から見えました。「あー、これかあ〜」みんなのつぶやきです。そして幹線道路から中に入っていくと、まだ車が横たわっていたり、水が道路にしみ出てきています。土台だけになって空き地となっているところ、大きな缶詰の看板が道路にまで流され横たわっている。その脇を車が走るんです。がれきの山もまだまだ、たくさんあって、ちょっとやそつとでは片付けられないですね。水面が道路や線路よりも上に感じられ、地盤が下がったのがよくわかります。石巻市ではブロードバンドゼロ地域解消、総務省の「次世代ブロードバンド戦略」をまさに開始しようとしていた矢先の震災だったそうで、会議室(対策室に使った)の壁に掛かった地図を見ながら説明をしていただきました。女川町役場への訪問は、町立病院にバスを止めて、そこで説明を伺いました。そこは高台にある病院、まさかここまで津波は来ないだろうと避難場所にもなっていたが、なんと高台のさらに上、1階、2階近くまで押し寄せてきたそうです。その高台から海の方を眺めると、建物が土台からはがされ、まるつきり横になっています。現在は、その建物を取り壊し、更地にして、たくさんのトラックの行き来が見られ、復興に向けている感じが感じられました。午後12:40出発で仙台駅には19時過ぎに到着しまし

た。仙台は震災復興のため、平日のこの時間帯は車が混むのだそうです。ながーい、半日でした。この機会に現地の様子に触れられて、良かったと思います。なかなかテレビだけでは感じられない、空気を感じました。これからみんなで、何が出来るか。もっと考えなければならぬと実感しました。

2011年11月11日（金）

10:00～総務省東北総合通信局長の武井様、宮崎県知事（代読）で、セミナーが開始されました。プログラムをご覧になるとわかるかと思いますが、ここまで通信会社が一度に揃うことは、なかなか無く、それぞれ、震災当日から現在に至るまで、細かいデータ、内容を元にご講演いただきました。1日で9名のご講演ですので、1人、正味30分と少なく、それぞれに質疑応答を設けなかったため、ご講演者には、申し訳なかったのですが、その後2時間のパネルディスカッションの場を設けて、ご意見をいただきました。

震災関係の講演は様々なところで行われていますが、時間の経過を考えても、東京での災害関係のイベントより、現地で実際に携わった方々の話をその場で聞いたので、伝わり方が全然違うのではないかと思います。情報共有から始まり、ノウハウの部分を知ることが出来たことはもちろん、今後どういう方向に行ったらいいか、また、そういうやり方があったのかと気づかされることも多々あったかと思えます。これを聞いて良かったと思っただけならば、今回震災をテーマに34回目の集いを開催した意味があったのではないかと思います。

パネルディスカッションでは、はじめ、なかなか質問も出なかったのですが、パネラーの苦労したこと、うれしかったことを聞き、ちらほらと質問も出てきました。やはり皆さん、復旧にあたり、状況が把握できなかったのが、困ったことだとおっしゃっていました。あれだけの震災、想定外とよく言われますが、広域にわたり設備や人がいる、どんな状況で、何が必要なのか、把握できないもどかしさがあったと。それに加え、現地（地方を預かっているものと東京の対策本部のものとの考え方のギャップがあったため、毎日の電話会議に振り回され、現地調査もままならないと行った、ジレンマがあったようです。また、福島の問題も大きく、一部報道があったように、危険区域へ立ち入り、局を直してくるといったことも行われたようです。復旧の優先順位、津浪エリアで復旧活動している人たちの安全確保。こういう状況をどうやって解決していいのか仮題が残ったとのこと。また、一般の人たちが、車で電波を探しているのを見たときは、つなげられなくて悔しいという思いを新たにしました。との発言もありました。プロなんですよ。「繋がらない」と文句を言うだけじゃダメだな。と思いました。ただ、繋がったときに利用者から、「よかった、ありがとう」と行ってもらえて、うれしかったとか、全国から現地入りしたため、遠いところから来てくれてありがとうと声をかけられ、モチベーションが上がったとか、施工会社やベンダーは通常、注文書が出ないと何も動かないのだから、それを抜きにして最優先でやってくれるとか、現地での助け合いが垣間見られた言葉でした。

まだまだ、いろいろなディスカッションがされましたが、Ustream 中継のアーカイブが JAIPAWeb にてご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

<http://www.jaipa.or.jp/topics/?cat=28>

通信と震災～第 34 回 ISP の集い in 仙台～

日時 2011 年 11 月 11 日 (金) 10:00～18:30 (9:30～受付開始)

場所 仙台市 戦災復興記念館

〒980-0804 仙台市青葉区大町二丁目 1 2 番 1 号

TEL : 022-263-6931 FAX : 022-262-5465

主催 社団法人日本インターネットプロバイダー協会 地域 I S P 部会

後援 宮城県、仙台市

協力 東日本電信電話株式会社

ディーシーエヌ株式会社 (Ustream)

スケジュール

9:30～ 受付開始

10:00～10:25 開会挨拶 地域 ISP 部会部会長 晋山孝善氏

挨拶 総務省東北総合通信局長 武井俊幸氏

挨拶 宮城県知事 村井嘉浩氏 (代理)

10:25～10:55 「大規模災害等緊急事態における 通信確保の在り方について」

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部

データ通信課長 齋藤 晴加氏

10:55～11:25 「東日本大震災の現状と復興への課題 (ICT 部門の立場から)」

仙台市 総務企画局 情報政策部

参事 兼 情報政策課長 今井 建彦氏

11:25～11:55 「東日本大震災通信網被害の復旧と今後の対策」

イー・アクセス株式会社 執行役員 小畑 至弘氏

11:55～12:40 昼食休憩

12:40～13:10 「ケーブルテレビ業界の被災状況と対応について」

社団法人日本ケーブルテレビ連盟

常務理事・事務局長 築島 幸三郎氏

13:10～13:40 「東日本大震災における KDDI の取り組み」

KDDI 株式会社

技術統括本部運用本部 運用品質管理部部長 岡田 利幸氏

13:40～14:10 「東日本大震災の初動対応の実施」

ソフトバンクモバイル株式会社

モバイルネットワーク本部 東北技術部部長 竹井 宏文氏

- 14:10～14:30 休憩
- 14:30～15:00 「TOHKnet インターネットサービスから見た東日本大震災」  
～地域 ISP として法人向け ISP として～  
東北インテリジェント通信株式会社  
技術本部部長 加藤 雅史氏
- 15:00～15:30 「東日本大震災 被害及び復旧状況と新たな災害対策」  
株式会社NTTドコモ 東北支社  
ネットワーク部長 松浦 敬裕氏
- 15:30～16:00 「東日本大震災による通信網の被災状況と取組」  
東日本電信電話株式会社  
ネットワーク事業推進本部 設備部  
ブロードバンドネットワークアーキテクチャ部門長  
東北復興推進室 担当部長 河野 真之氏
- 16:00～16:20 休憩
- 16:20～18:20 パネルディスカッション  
モデレータ：社団法人日本インターネットプロバイダー協会  
副会長 立石聡明氏  
パネラー：上記講演者
- 18:20～18:30 閉会
- 19:00～21:00 懇親会（一軒居酒屋大町へそのを）